

32. 岡山県 (Okayama Pref.)

作成者: 三宅誠治¹⁾; 協力者: 難波通孝

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	EX	ウラジャノメ	-	-	東粟倉村	1951年の記録のみ	不明。国定公園の特別保護地区に指定されているため環境は守られているが、採集当時に比べると樹林が生長し暗くなっている	-
EX	ア	E	シ - タテハ	-	-	東粟倉村, 奈義町, 勝北町, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 中央町, 川上村, 湯原町, 新見市, 大佐町, 建部町, 岡山市	1950年代後半から1960年代前半にかけて衰退。1964年の記録が最後	不明	-
EN	オ	V	ギフチョウ	-	奥津町, 八束村	富村, 中和村, 川上村, 湯原町, 勝山町, 新見市	1980年頃から、いずれの生息地も個体数が大幅に減少	雑木林やその周辺の発生地に、適度に人手が加わらなくなったり、開発により生息環境が悪化。一部の生息地では捕獲圧の影響を無視できない	川上村では県指定の天然記念物。奥津町井坂では町で保護活動。勝山町は教育委員会で保護
EN	オ	R	ヒメヒカゲ	-	上斎原村, 奥津町, 新庄村, 大佐町, 哲多町, 哲西町, 日生町, 備前市, 邑久町, 倉敷市, 総社市	東粟倉村, 勝田町, 阿波村, 鏡野町, 中和村, 八束村, 川上村, 勝山町, 新見市, 和気町, 赤坂町, 長船町, 岡山市, 山手村, 金光町	1985年頃から減少	生息条件の悪化	-
EN	オ	V	ウスイロヒョウモンモドキ	-	上斎原村, 川上村, 新庄村, 新見市	東粟倉村, 大原町, 勝田町, 奈義町, 阿波村, 加茂町, 奥津町, 鏡野町, 中和村, 八束村, 勝山町, 大佐町, 神郷町	1980年代後半から、各地で生息を確認できなくなってきた	草原の荒廃や、乾燥化による生息条件の悪化。残った生息地でも捕獲圧が増大	上斎原村恩原高原では村が保護。新見市草間台地では隣学会自然保護委員会特別委員会で地区住民と協力し保護。参考資料: 岡山昆虫談話会, 1999. 岡山県におけるウスイロヒョウモンモドキの現状
EN	オ	V	ヒョウモンモドキ	-	-	勝央町, 久米南町, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 勝山町, 新見市, 哲多町, 哲西町, 備中町, 赤坂町, 建部町, 岡山市, 金光町	1990年代中頃から生息を確認できなくなり、2002年は県下での確認は無かった	開発や荒廃により生息地が孤立化。一部の生息地では捕獲圧の増大	現在県下では絶滅している可能性が極めて高い
EN	オ	E	オオウラギンヒョウモン	-	-	勝田町, 奈義町, 加茂町, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 津山市, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 大佐町, 川上町, 和気町, 岡山市, 倉敷市, 山手村, 清音村, 総社市, 矢掛町, 金光町	1980年頃からほとんど記録がない	不明	現在、県下では絶滅している可能性が極めて高い
EN	ソ, テ	R	キバナセセリ	-	八束村, 川上村, 美甘村, 新庄村, 勝山町	-	元々観察例が少なく、顕著な衰退は確認できないが、生息も確認できない	道路工事で食樹のハリギリが減少	-
VU	タ, テ	-	ツマグロキチョウ	中和村, 八束村, 川上村	左欄を除く県下全域	-	1990年代になって観察例が減少	道路や矩面の舗装, コンクリート化により生息環境が悪化	-
VU	タ, テ	-	ウラナミジャノメ	-	-	勝田町, 落合町, 新見市, 賀陽町, 高梁市, 備中町, 日生町, 備前市, 建部町, 岡山市, 玉野市, 瀬崎町, 倉敷市, 山手村, 清音村, 総社市, 矢掛町, 金光町, 井原市, 笠岡市	県南の湿地周辺では1990年頃から減少。それ以外では1970年頃から減少	生息環境の荒廃	-
VU	タ, テ	R	クロヒカゲモドキ	-	作東町, 津山市, 久米町, 川上村, 新庄村, 勝山町, 落合町, 新見市, 大佐町, 哲多町, 北房町, 高梁市, 成羽町, 川上町, 加茂川町, 矢掛町	-	1985年頃から減少	生息環境の荒廃	-
VU	タ, テ	R	オオムラサキ	-	瀬戸内沿岸部の平野部の一部を除く県下全域	-	1980年頃から減少	食樹の伐採	エノキの保護
VU	タ, テ	V	ウラクロシジミ	東粟倉村, 上斎原村, 中和村	大原町, 勝田町, 阿波村, 加茂町, 奥津町, 八束村, 川上村, 新庄村, 新見市, 大佐町, 神郷町	-	1980年頃から減少	道路拡張による食樹の伐採などにより生息環境が悪化	-
VU	タ, テ	V	キマダラルリツバメ	-	美作町, 奈義町, 勝北町, 上斎原村, 奥津町, 川上町, 新庄村	東粟倉村, 英田町, 勝田町, 鏡野町, 勝山町, 大佐町, 吉永町	1985年頃から減少	生息環境の悪化。捕獲圧の増大	-
VU	タ, テ	-	クロシジミ	-	東粟倉村, 奈義町, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 久米南町, 八束村, 川上村, 新庄村, 勝山町, 新見市, 大佐町, 神郷町, 有漢町, 賀陽町, 高梁市, 成羽町, 吉永町, 備前市, 赤坂町, 熊山町	美星町, 金光町, 倉敷市	県中南部では1970年頃から減少。北部では1990年頃から減少	生息環境の荒廃	-

32. 岡山県 (Okayama Pref.)

作成者: 三宅誠治¹⁾; 協力者: 難波通孝

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	タ,テ	R	シルビアシジミ	久米南町, 総社市	作東町, 美作町, 勝田町, 奈義町, 勝北町, 勝央町, 津山市, 久米町, 有漢町, 佐伯町, 備前市, 吉井町, 長船町, 建部町, 御津町, 岡山市, 山手村, 清音村	玉野市, 倉敷市	1970年頃から減少	生息環境の荒廃	-
VU	タ,テ	R	ゴマシジミ	-	中和村, 八束村, 川上村, 湯原町, 美甘村, 新庄村, 新見市, 大佐町, 神郷町, 哲多町, 哲西町	落合町, 北房町, 有漢町, 賀陽町, 高梁市, 備中町, 川上町	1985年頃から減少	生息環境の荒廃. 一部生息地では捕獲圧の増大	-
VU	カ	R	クロツバメシジミ	-	中央町, 久米町, 旭町, 新見市, 哲多町, 賀陽町, 高梁市, 成羽町, 備中町, 川上町, 備前市, 吉永町, 和気町, 佐伯町, 建部町, 加茂川町, 御津町, 岡山市, 美星町, 吉井町	津山町, 熊山町, 長船町, 倉敷市, 総社市	市街地では1975年頃から減少	古い家屋の撤去, 石崖の改築などによるツメレンゲの生える生息環境の喪失	-
VU	タ,テ	R	ホシチャバネセセリ	-	西粟倉村, 大原町, 奈義町, 阿波村, 上斎原村, 奥津町, 八束村, 川上村, 新庄村, 勝山町, 落合町, 新見市, 大佐町, 高梁市, 備中町, 川上町, 総社市, 美星町	-	1980年頃から減少	生息条件の悪化	-
NT	チ,テ	R	ジャコウアゲハ	-	県下全域	-	1985年頃から減少	自然の草地の減少	-
NT	チ,ト	R	オオヒカゲ	-	東粟倉村, 西粟倉村, 奈義町, 上斎原村, 奥津町, 中和村, 八束村, 川上村, 湯原町, 美甘村, 新庄村, 勝山町, 新見市, 大佐町, 神郷町, 哲多町, 哲西町, 備中町	-	1985年頃から衰退	不明	-
NT	チ,ト	R	キマダラモドキ	-	東粟倉村, 大原町, 上斎原村, 奥津町, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 勝山町, 新見市, 大佐町, 吉永町	-	1985年頃から衰退	不明	-
NT	チ,ト	-	ウラギンスジヒョウモン	-	県下全域	-	1985年頃から衰退	適度に人手の加わっていた草地の荒廃	-
NT	チ,ト	-	メスグロヒョウモン	-	県下全域	-	1985年頃から減少	適度に人手の加わっていた草地の荒廃	-
NT	タ,ト	R	アカシジミ	-	県下全域	-	1980年頃から減少	不明	-
NT	チ,ト	R	クモガタヒョウモン	-	県下全域	-	1975年頃から減少	適度に人手の加わっていた草地の荒廃	-
NT	タ,ト	-	ウラナミアカシジミ	-	県下全域	-	1990年頃から減少	不明	-
NT	チ,ト	R	オナガシジミ	-	勝北町, 阿波村, 上斎原村, 富村, 中和村, 八束村, 川上村, 湯原町, 美甘村, 新庄村, 新見市, 神郷町, 備中町	-	-	河川改修工事などによる食樹の減少	-
NT	チ,テ	R	アイノミドリシジミ	-	東粟倉村, 西粟倉村, 阿波村, 上斎原村, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 神郷町	-	-	植林に伴う食樹の伐採	-
NT	チ,テ	R	エゾミドリシジミ	-	東粟倉村, 奈義町, 阿波村, 上斎原村, 奥津町, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 神郷町	-	-	植林に伴う食樹の伐採	-

32. 岡山県 (Okayama Pref.)

作成者: 三宅誠治¹⁾; 協力者: 難波通孝

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
NT	チ,テ	R	フジミドリシジミ	-	東粟倉村, 西粟倉村, 奈義町, 阿波村, 加茂町, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 中和村, 八束村, 川上村, 新庄村, 新見市, 大佐町, 神郷町	-	-	植林に伴う食樹の伐採	-
NT	チ,ト	R	スギタニルシジミ	-	西粟倉村, 奈義町, 勝北町, 阿波村, 加茂町, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 中和村, 川上村, 新庄村	-	-	植林に伴う食樹の伐採	-
NT	チ,テ	-	ヒメシジミ	-	阿波村, 上斎原村, 奥津町, 鏡野町, 中和村, 八束村, 川上町, 湯原町, 新庄村, 新見市, 大佐町, 神郷町, 哲多町, 哲西町, 高梁市, 備中町	-	1980年頃から減少	食草の生える湿地の減少	-
DD	ネ	R	ヒサマツミドリシジミ	-	加茂町, 奥津町	-	1984年, 1985年に記録されたのみで, その後に記録はない	植林や道路工事に伴う食樹の伐採	-
DD	ネ	-	キリシマミドリシジミ	-	新庄村	-	1993年に記録されたのみで, その後に記録はない	植林に伴う食樹の伐採	-
-	-	R	クロアゲハ	県下全域	-	-	1980年代から1990年代にかけて一時減少していたが, 近年復活の傾向にある	-	-
-	-	R	アカタテハ	県下全域	-	-	1980年代から1990年代にかけて一時減少していたが, 近年復活の傾向にある	-	-
-	-	R	メスアカミドリシジミ	県中北部	-	-	1990年代になり調査が進み, 多くの生息地が発見された	-	-
-	-	R	クロミドリシジミ	県中北部	-	-	1998年以後に生息地の拡大が認められる	-	-
-	-	R	ヒロオビミドリシジミ	県中北部	-	-	個体数はやや減少しているものの, 産地の減少はないようで, 判定基準に該当しない	-	-
-	-	R	カラスシジミ	県中北部	-	-	1980年代に調査が進み, 多くの生息地が発見された	-	-
-	-	R	ミヤマカラスシジミ	県中北部	-	-	近年, 目立った減少は認められない	-	-

1) 〒706-0131 岡山県玉野市東紅陽台2-19-192